

中日(30.6.13)

## 特養ホーム入所者 地域住民らと交流

岐阜

岐阜市黒野の特別養護老人ホーム「黒野あそか苑」で、入所する高齢者とその家族、地域住民らが気軽に話し合える地域交流サロン

「ほっとカフェあそか」が開設された。

ホームで喜らす人と地元住民との交流を活発にしようと企画。認知症になった人やその家族の悩み相談の場にする狙いもある。

初回は入所者とその家族、地元住民ら約五十人が集まった。テーブルを囲んだ参加者は、職員から「どちらからですか」「お変わりありませんか」などと声を掛けられながら、コーヒを片手に和やかな時間を過ごした。近くの市地域包括支援センター岐北の職員による講演もあった。参加した入所女性(セシ)は「日頃の外出は通院ばかり。地域の方と顔見知りには

職員と話す参加者たち  
118日、岐阜市黒野の黒野あそか苑で



なってお話できるから、今後もまた来たい」と喜んでいました。今後は月に一度、第二金曜日開催する。

(鳥居彩子)